

ニコニコ技術部・手芸部 超会議2 企画書

2012/11/11 バージョン

野尻抱介(尻 P)

●概要

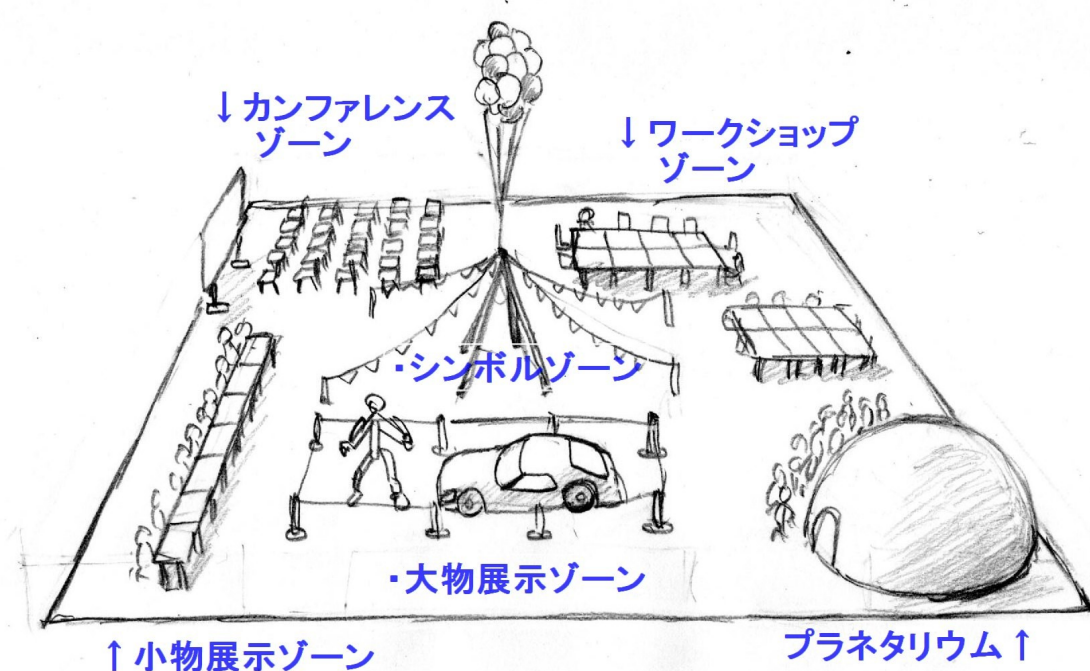
ニコニコ技術部・手芸部メンバーによる企画。

25m×25mの展示スペース、および展示ホールを一巡するトロッコ列車の運用を行う。

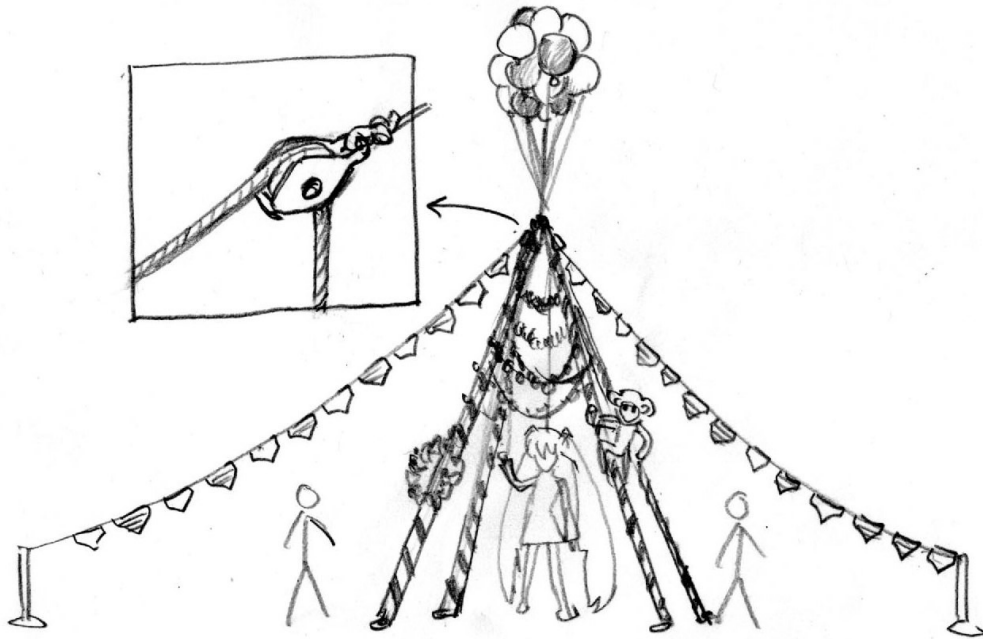
●展示スペース

作ることによって表現する人たちによる、開かれたベースキャンプを構築する。

展示は二日間の会期にわたって変化し続ける。ワークショップに多くのスペースを取り、メンバーのものづくりを現在進行形で来場者に見せ、参加してもらおう。下記ゾーニングも柔軟に変化させる。



- ・ **カンファレンスゾーン** メンバーの発表、デモンストレーションを行う。
- ・ **ワークショップゾーン** 手芸部、技術部が来場者を招いて簡単な手芸・電子工作などを行う。
- ・ **シンボルゾーン** 中央に「ニコニコタワー」(仮称)を置き、ワークショップで製作した物品、メンバーの作品、来場者が当日持ち寄った作品などを随時飾り付け、成長させてゆく。
- ・ **大物展示ゾーン** 等身大メカ、痛車など大物の展示を行う。
- ・ **小物展示ゾーン** メンバーの作品を個別に展示・即売する。
- ・ **プラネタリウム** 前回好評だったヒゲキタ氏のプラネタリウムを設置する。



ニコニコタワー(仮称)の想像図。高さ3~4mのクリスマス・ツリー的なものを中心に置き、会期を通してデコってゆく。

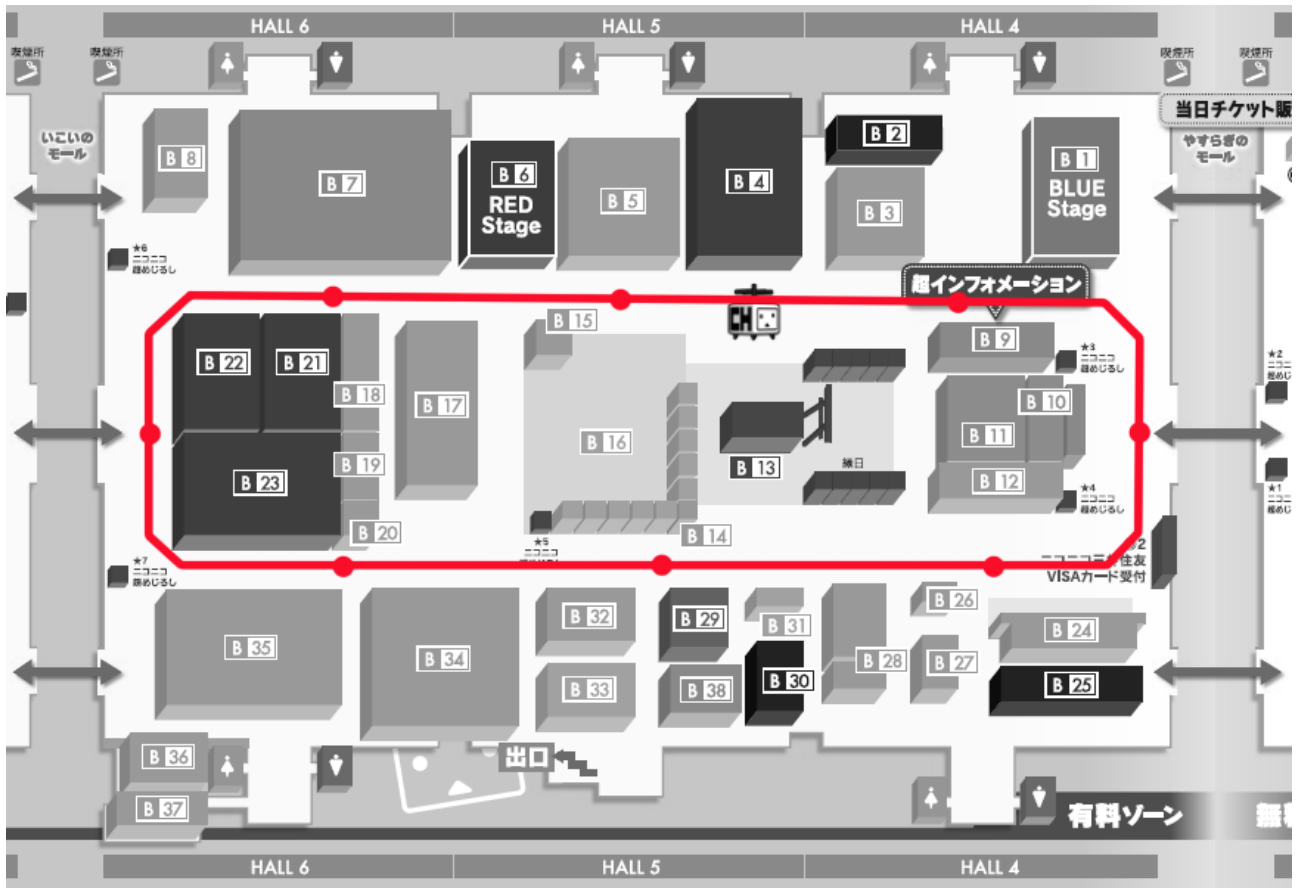
●トロッコ列車



人力で駆動し、会場内を一巡するトロッコ列車。牽引は人力で行うが、ステアリングは床に貼ったガムテープを認識して自動的に行う。機械が人間に指図して運行する乗り物である。速度は時速4~5km程度。歩く速度と変わらない。

客車を1~3輛程度牽引する。引き手および乗客は当日募集する。

ねらいは、超会議内に交通インフラを持ち込むことによって、出展者・来場者間のシナジーを喚起すること。車輛をデコったり、落書きしたり、芸を披露したり、ビラ撒き、物売り、ゲストや報道陣を乗せる、車上から生中継するなど、様々な遊び方を提供する。



トロッコ列車の路線

前回のレイアウトを仮定すると、幅 9m の大通りの中央を通過してホール 4～6 を一周する路線とする。途中に赤丸で示した駐車場を設定する。

安全対策

- ・ 人が歩く速度で、しかも人力で牽引するので、暴走の心配はまずない。
- ・ 占有スペースは幅 1m、全長 10m 程度。団体客が行列しているのと実質的に変わらない。
- ・ 声を掛ける、鐘を鳴らすなどして通行人に(低姿勢で)注意喚起する。
- ・ 手動および自動ブレーキを装備する。前方の障害物、コース、停車場までの距離、速度は制御装置が認識しており、速度超過時や危険を察知するとブレーキをかける。
- ・ 引き手の一人は必ず運用メンバーがあたり、安全管理をおこなう。

●連絡拠点

ニコニコ技術部 Wiki 特設ページ <http://j.nicotech.jp/chokaigi2>

および同ページに示す IRC で不定期に打ち合わせ中。

本企画書は野尻抱介(尻 P)が、打ち合わせ内容をもとに独断でまとめたものであり、メンバーの総意ではない。